

無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集(ム05)

目 的 無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

- 成 果**
1. 韓国文化財庁国立無形遺産院との研究交流では、本研究所の研究員の派遣と相手機関研究員の受け入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止せざるを得なかった。代わりに両国のコロナ禍における無形文化遺産保護の現状について情報交換を行った。
 2. 無形文化遺産の国際的な動向に関する調査研究では、新型コロナウイルス感染症拡大のためオンラインでの開催となったユネスコ無形文化遺産条約第15回政府間委員会(議長国ジャマイカ:2020(令和2)年12月14日～19日)に2名のスタッフ(石村・二神)がリアルタイムで傍聴し、情報収集を行った。なお本調査の成果は『無形文化遺産研究報告』第15号において報告した。
 3. アジア太平洋無形文化遺産研究センター(IRCI)への協力では、国際シンポジウム「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する研究:教育とまちづくり」(2021(令和3)年1月28日～29日)に1名のスタッフ(石村)がリソースパーソンとして出席した。
 4. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況における無形文化遺産の現状と課題について、国内外の情報を収集し、それをウェブサイト及びSNSによって発信した。またユネスコのウェブサイトにはコロナ禍における日本の無形文化遺産の現状と課題の報告を掲載した。

論 文・T. Ishimura: Issues regarding the protection of intangible cultural heritage related to religion in Japan. S. L. Wang et al. eds, Heritage and Religion in East Asia. Routledge. pp. 187-203 21.1

報 告・T. Ishimura: Performing arts, traditional craftsmanship and festive events in Japan. Living heritage experiences and the COVID-19 pandemic <https://ich.unesco.org/en/living-heritage-experience-and-covid-19-pandemic-01124?id=00073> 20.4

・二神葉子:「無形文化遺産の保護に関する第15回政府間委員会における議論の概要と今後の課題」『無形文化遺産研究報告』15 pp.51-74 21.3

・石村智:「コロナ禍における無形文化遺産の情報収集・発信」『無形文化遺産研究報告』15 pp.23-30 21.3

研究組織 ○石村智、金昭賢(以上、無形文化遺産部)、二神葉子(文化財情報資料部)、宮田繁幸、松山直子、神野知恵(以上、客員研究員)